

PEG連携パス

胃瘻造設術入院治療計画書(地域連携期間用)

患者氏名

紹介医療機関

紹介主治医

	入院前	入院中	退院後より交換までの期間
アウトカム	入院の準備が出来る	入院し重篤な合併症なくPEGを行うことが出来る PEG後の取り扱いを出来る限り理解する 誤嚥性肺炎をおこさない	胃瘻カテーテルの事故抜去がなく、栄養剤の注入もスムーズである 胃瘻周囲の重篤な異常がない
食事		当日より絶飲食	摂食嚥下評価の後、適切な食形態や量を適切な姿勢で摂取させてください
内服薬	抗凝固剤が中止されている	主治医の指示により内服	
栄養剤		入院中はサンエット及びメイバランスを使用します 逆流の強い方は半固形栄養剤を使用する場合があります	患者様の状態で使用してください
入浴		術後7日目よりシャワー浴	術後14日目より入浴
観察		胃瘻周囲の皮膚の観察	胃瘻周囲の皮膚の観察 (発赤、腫脹、糜爛、浸出液、肉芽の有無)
準備・その他	インフォームドコンセント 入院日の確認 (入院パンフレットが必要な場合はこちらから送付いたします)	入院期間は院内パスで造設・交換します 管理の指導開始 ・栄養剤の注入方法 ・注入器具の取り扱い ・胃瘻周囲の管理 ・トラブル時の対処方法	定期的な胃瘻カテーテル交換(4ヶ月～6ヶ月) ・バンパータイプで造設を行っています PEGに関する相談窓口 (PEG前後の摂食嚥下機能評価の相談) ・大分健生病院PEGセンター/内視鏡室 TEL/Fax 097 - 558 - 5195 ・24時間PEGトラブル対応 外来看護課 TEL 097 - 558 - 5140(代表)

大分健生病院PEGセンター